

株主の皆様へ

第74期第2四半期のご報告

2022年4月1日から2022年9月30日まで



おしゃれのとなりに
株式会社 **フジックス**
証券コード：3600

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第74期第2四半期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)における営業の概況と決算につきまして、下記のとおりご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波と呼ばれる感染拡大が見られたものの、行動自粛の緩和と共に個人消費の回復が見られた一方で、不安定な国際情勢や、歴史的な円安進行による国内の物価上昇が顕著となるなど、先行きの不透明感は一層高まりつつあります。

日本向け衣料品の生産は、国内外共にまだら模様ながら回復傾向にあり、これに伴って衣料用縫い糸の受注も増加傾向が見られたものの、国内の手芸専門店の来店客数の回復が鈍いことや、半導体不足などの影響による自動車生産台数の回復遅れにより、家庭用縫い糸や車両内装用縫い糸については、引き続き受注の低調が続きました。

これらの商況に、3月末からおよそ2ヶ月間にわたる中国・上海地域のロックダウンに伴う中国子会社の操業停止による影響、今秋10月以降の販売価格の改正に伴う駆け込み受注、円安進行に伴う為替換算レートの影響等の増減要因が加わり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,900百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

一方利益面につきましては、販管費は引き続き低水準で推移しましたが、販売品目構成の変化や、原材料やエネルギーコストを始め、製造コスト全般の上昇による売上高総利益率の低下が響いて、営業損失は95百万円(前年同期は78百万円の損失)、経常損失は72百万円(前年同期は65百万円の損失)となりました。

なお、2022年11月10日に「特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示したとおり、中国・上海地域のロックダウンによるおよそ2ヶ月間にわたる中国子会社4社の操業停止期間の固定費78百万円を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は116百万円(前年同期は74百万円の損失)となりました。

新型コロナウイルスの感染状況や国際情勢、経済情勢など当社グループを取り巻く事業環境は当面厳しく、かつ先行きも不透明ですが、当社グループといたしましては、今後も事業環境の変化に対応しつつ、対処すべき課題にグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては一層のご支援をお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 藤井 一郎

セグメント別の概況

日本

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間は、当社の2022年4月から9月まで、国内子会社の2022年2月から7月までの業績が連結されております。

当期間は、急激な円安の進行や国際情勢に起因した資源価格の高騰、諸物価の上昇などによる先行きの不透明感が高まりながらも、行動制限の緩和と共にまだら模様ながらも衣料品消費は持ち直す傾向が見られ、その生産の増加に伴って衣料用縫い糸の受注も回復傾向となりましたが、国内の手芸専門店の来店客数の回復が鈍いことや、半導体不足などの影響による自動車生産台数の回復遅れにより、家庭用縫い糸や車両内装用縫い糸については、引き続き受注の低調が続くなど、分野により状況の相違が見られました。

また、今秋10月より実施した販売価格改正前の駆け込み受注もあって、当セグメントの売上高は2,328百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

一方利益面につきましては、販管費は引き続き低水準で推移しましたが、販売品目構成の変化や、原材料やエネルギーコストを始め、製造コスト全般の上昇による売上高総利益率の低下が響いて、セグメント損失は87百万円(前年同期も87百万円の損失)と前年同期同様の厳しい結果となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間は、2022年1月から6月までの業績が連結されております。

当セグメントが主力としている日本向け衣料品用の縫い糸需要は、衣料品消費の回復に伴って増加傾向ながら、当社グループにおきましては、3月末以降およそ2ヶ月にわたる中国・上海地域のロックダウンに伴う中国子会社の操業停止が、中国のみならずベトナムやタイ国の子会社の販売にも影響を及ぼしました。

これらから、当セグメントの売上高は、為替換算レート変動の影響によるプラス要因があったにもかかわらず、571百万円(前年同期比0.9%増)にとどまりました。

また利益面につきましては、上述のとおり、中国子会社4社の操業停止期間の固定費を特別損失として計上しましたが、第1四半期連結会計期間に続き、原材料、エネルギー価格、輸送費等の高止まりや委託加工賃の上昇を販売価格へ転嫁することが困難な状況も加わって、セグメント損失は19百万円(前年同期は4百万円の利益)となりました。

株主総会資料の電子提供制度のご案内

会社法改正により、2022年9月1日から株主総会資料の「電子提供制度」が導入されました。

当社におきましても2023年3月以降の株主総会から、従来書面でご提供していた株主総会資料を当社ホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主の皆様にお届けする通知書面に記載のURLからウェブサイトへアクセスしていただくことにより、株主総会資料をご提供することにいたしました。

なお、議決権行使書は、今までどおりお送りいたします。



○同封の一般財団法人信託協会のリーフレットもご覧ください。

○電子提供制度について詳しくはこちら

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>

○よくあるご質問はこちら

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>



電子提供制度に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-533-600 (9:00-17:00 土日祝日、12/31-1/3を除く)

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当第2四半期	増減
資産の部			
流動資産	6,749	6,984	235
固定資産	4,026	4,116	90
有形固定資産	2,650	2,693	43
無形固定資産	202	225	23
投資その他の資産	1,173	1,197	24
資産合計	10,775	11,101	325
負債の部			
流動負債	588	720	132
固定負債	741	738	△ 3
負債合計	1,330	1,459	129
純資産の部			
株主資本	7,900	7,714	△ 185
その他の包括利益累計額	798	1,123	325
非支配株主持分	747	803	56
純資産合計	9,445	9,641	196
負債・純資産合計	10,775	11,101	325

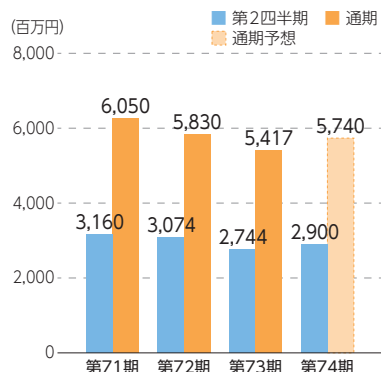
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

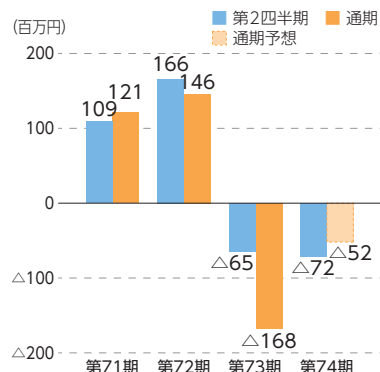
科目	前第2四半期	当第2四半期	増減
売上高	2,744	2,900	155
売上原価	2,044	2,229	184
売上総利益	699	670	△ 28
販売費及び一般管理費	777	765	△ 11
営業損失	78	95	16
営業外収益	39	44	4
営業外費用	27	22	△ 5
経常損失	65	72	7
特別利益	—	0	0
特別損失	0	79	79
税金等調整前四半期純損失	65	151	85
法人税・住民税及び事業税	12	11	△ 1
法人税等調整額	△ 1	△ 11	△ 10
四半期純損失	76	151	74
非支配株主に帰属する四半期純損失	2	34	32
親会社株主に帰属する四半期純損失	74	116	42

注 国内連結子会社は2022年2月から7月(1月決算)、海外連結子会社は2022年1月から6月(12月決算)の業績が連結されております。

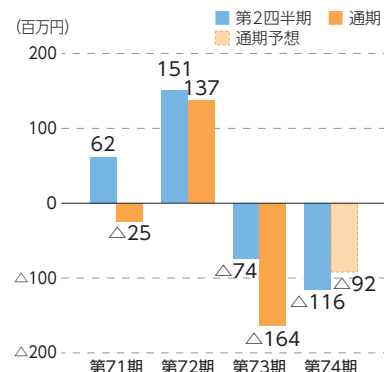
売上高



経常利益



純利益



ホームページやSNSで最新情報をお届けしています。

● IR情報、製品情報やWebショップ

ホームページURL

<https://www.fjx.co.jp>

● キャンペーン、新製品情報、手作り情報を発信



@fujix_info



@fujix_info



● 会社の概要 (2022年9月30日現在)

事業内容

家庭用縫い糸及び工業用縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創 業 1921年3月

設 立 1950年1月

資 本 金 923,325,000円

従業員数 119名*パート19名を含む(連結 411名)

事業所

本 社	管理部 営業部	京都市北区
東 京 支 店	営業部	東京都豊島区
滋 賀 事 業 所	生産部 物流部 研究開発室	滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門	秋田県横手市

● 役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役 藤井 一郎 社長

常務取締役 松尾 勇治 管理部長

常務取締役 藤井 翔太 経営企画室長

取 締 役 上原 康裕 生産部長

取 締 役 伊藤 和夫 アパレル資材部長

取 締 役
(監査等委員) 川嶋 伸久

取 締 役
(監査等委員) 吉田 薫 社外取締役

取 締 役
(監査等委員) 山田 善紀 社外取締役

● グループ会社 (2022年9月30日現在)

国内グループ会社

株式会社FTC	製造会社	京都市北区
株式会社シオン	販売会社	秋田県横手市
株式会社ニットマテリアル	販売会社	山梨県甲府市

海外グループ会社

上海富士克制線有限公司	製造会社	中国・上海市
上海富士克貿易有限公司	販売会社	中国・上海市
上海新富士克制線有限公司	販売会社	中国・上海市
富士克國際(香港)有限公司	販売会社	中国・香港
上海福拓線貿易有限公司	販売会社	中国・上海市
常州英富紡織有限公司	製造会社	中国・溧陽市
FUJIX VIETNAM CO.,Ltd.	販売会社	ベトナム・ホーチミン
FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.	販売・製造会社	タイ・バンコク

● 株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 3,989,000株

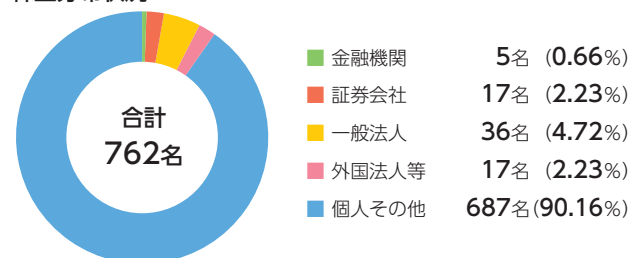
発行済株式の総数 1,468,093株

株主数 762名

大株主	保有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社FJ興産	158,600	11.52
藤井太郎	98,400	7.15
鈴木直子	98,200	7.13
小原京子	86,000	6.25
藤井一郎	44,000	3.20
都築智子	37,200	2.70
柏阿里子	37,200	2.70
森本晶一	37,200	2.70
株式会社三井住友銀行	36,960	2.68
INTERACTIVE BROKERS LLC	34,700	2.52

当社は、自己株式91,425株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

株主分布状況



● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 定時株主総会・期末配当金：3月31日
中間配当を行うとき：9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
大阪市中央区北浜四丁目5番33号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031
受付時間 9：00～17：00(土日休日を除く)

よくあるご質問 (FAQ) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

公告方法 電子公告としております。(https://www.fjx.co.jp)

株主様の住所変更等お届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

